**1月21日Ｖ・チャレンジリーグⅠ**

**対戦相手　大分三好ヴァイセアドラー**

**スタートメンバー　中川、岩井、横田、新、浅野、手塚、**

**リベロ芳賀**

**リーグ14戦目は大分三好ヴァイセアドラーとの対戦。**

 **1セット目、富士通は対策を練ってきた相手エースへの対応がうまくいき、序盤から得点を重ねていく。その後も横田のブロック、浅野のサーブで得点を奪い続けると、最大11点差を広げ完全に富士通ペースの試合となる。最後まで攻め続けた富士通が25-17で1セット目を先取する。**

 **2セット目、このセットは大分が外国人エースにトスを集めだし、富士通は浅野を中心に攻め、一進一退の攻防となる。富士通が1点、2点とリードするものの、その度に追い付かれ、シーソーゲームは終盤まで続く。しかし、最後は大分の攻撃の前に屈してしまい、このセットを24-26で奪われてしまう。**

 **3セット目、流れを変えるべく中川に変えて柳田を投入する。しかし、勢いに乗った大分の力強いサーブに苦しめられ続けリードを奪われる展開が続く。それでも柳田やこの日スタメンの手塚が奮起し何とか粘りをみせる。終盤追い上げを見せたもののこのセットもエースを止めることができず、21-25でこのセットも連取される。**

 **4セット目、攻撃力のある岡村を投入し流れを変える。このセット再びコートに戻った中川と岡村を中心に攻撃を組み立てる。ディフェンスも身体を張って簡単には決めさせない気迫をみせる。これが奏効し、少しずつ富士通ペースで試合が進む。中盤に一度追い付かれるものの、最後は岩井の力強いサーブから中川がスパイクを決め、25-22で富士通が奪った。**

 **今リーグ初めての5セット目、やるべきことを明確にして試合に臨む。スタートから岡村のクイック、手塚のブロック、新のサーブなどでリードを広げるが、中盤に追い付かれてしまう。しかしここから粘り負けしないのが今季の富士通。芳賀を中心としたレシーブで流れを渡さない。その後、浅野のサービスエースで抜け出し、岩井が難しいスパイクを決め勝負あり。富士通が15-12で勝利した。**